

美杉村における衣生活の実態調査

第1報 主婦の被服所持数及び家庭における被服購入状況

西条 セツ 尾関 清子
辻 啓子 丸山 幸江
森下 文子

緒言

我々生活科学研究班は美杉村における生活の基礎調査をし、更に衣生活の実態を把握するための第一段階としてこの調査を行った。

美杉村の位置、歴史については既に(1966年東海学園学術調査団)¹⁾に述べられている通りであるが、林産地として三重県における重要な地位をしめ、全国的にも良質の杉材の産出地として有名な村である。東海農政局39年度調査によれば農地が3~5アールまでの農家が多く、そのうち専業農家は8%で、兼業農家は92%である。農産物による1戸当り1年間の収入も3万~20万円までの農家が60%、自家消費農家が37%となっており、収入が20万~100万円は3%である。農家数の60%が林業に従事しており、そのうち73%が自家消費農家、10万~20万円16%、20万~50万円6%、50万円以上5%となっている。

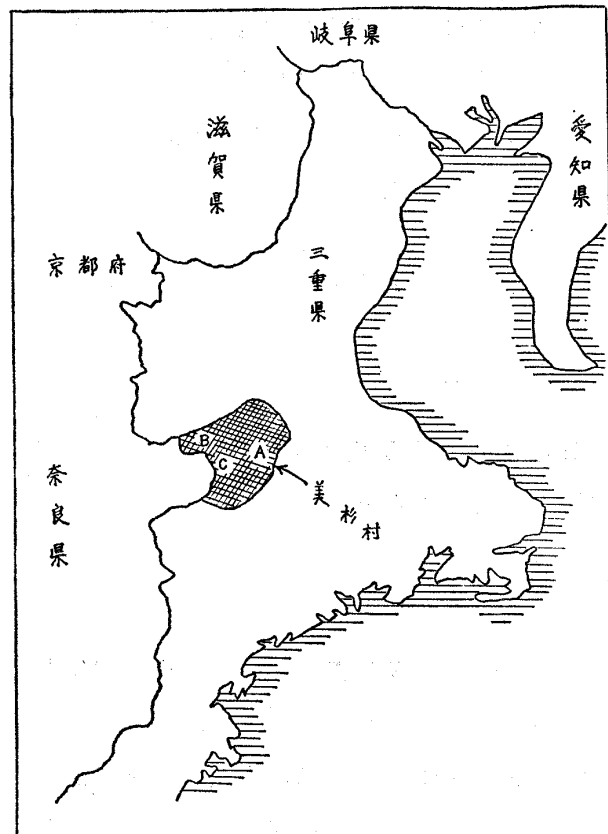
交通的にはかなり不便な農山村において、収入の中で文化生活を営む主要耐久消費財と農山村生活の変化にともなう衣生活をいかに処理しているかを調査し、今後の衣生活のあり方についても検討を試みた。

調査並びに集計方法

I 調査地区

美杉村7部落のうち今回は3部落を選んだ。

才1回 美杉村位置図



A部落は雲出川の支流である八手俣上流に位置し、交通に不便な部落で専業農家が多い。B部落は大洞山にさえぎられ、一旦奈良県境を越えむしろ交通的には名張市に近く、C部落は美杉村の中心に近いところに位置する部落である。

II 調査対象

上記部落の家庭の主婦を対象にした。調査人員は基礎調査93名、被服調査は約200名である。調査集計の際には必要に応じて専業農家（世帯主または後継者が農業に従事）、兼業農家（農業以外に恒常勤務または出稼等）、非農家（農林省調査基準²⁾により西日本の0.5アール以下の農業を営む家）との3種類に分けて調査した。調査の対象になった家庭の主婦は美杉村の婦人会員である。

III 調査時期

昭和41年7月20・21・22の3日間

IV 調査内容

1. 美杉村の生活基礎調査
 2. 生活における主要耐久消費財
 3. 衣生活について
 - (1) 主婦の被服所持数
 - (2) 1年間（昭和40年8月～41年7月）の被服購入枚数
 - (3) 衣生活に対する態度
 4. 主婦の職業時間、家事労働、その他生活全般について
 5. 結婚の費用調査
 6. 農薬散布の場合の服装について
- そのうち1、2、3、について今回は報告する。

V 調査方法

日本女子大学農家生活調査^{3),4)}の項目を参考にして、本研究所独自の記入用紙を作製し、被験者に配布して記入させた。

VI 集計方法

1. 生活の基礎調査においては全村で集計し、主要耐久消費財は専業農家、兼業農家、非農家別に分類した。
2. 衣生活においては年齢別、性別、部落別、全村集計を行った。
3. 国民生活白書、東海4県調査表を参考にし、比較検討した。

調査結果及び考察

I 生活の基礎調査

1. 農地及び山林の所有状況

(1) 職業別：第1表⁶⁾に示すように今回の調査参加者の農家（専業・兼業）、非農家別戸数をみると、各部落とも兼業農家が多く、全体の50%をしめている。A部落に専業農家が多いこと、C部落に非農家が多いことが目立つ。

第1表 調査部落状況

分類 調査部落	調査戸数	部落水田 (アール)	部落畑 (アール)	部落戸数	調査者の農家・非農家別に みた戸数		
					農 家		非農家
					専 業	兼 業	
A 部 落	34	296	9,003	5,003	12	19	3
B 部 落	23	385	11,901	7,176	1	17	5
C 部 落	36	257	8,114	4,691	4	14	18
計	93	938	29,023	16,870	17	50	26

(2) 調査部落の所有状況：第2表にみるように3アール以下60%、5アール以下20%、10アール以上が10%で小規模な農家が多い。更にこれを耕地面積の上からみても第3表のように典型的な山村農家である。

第2表 農地及び山林の所有規模別戸数

耕 地	調 査 部 落	3アール 以 下	5アール以下	10アール以下	10アール 以 上	計
水 田	A 部 落	11	11	6	3	31
	B 部 落	9	6	1	0	16
	C 部 落	9	6	3	0	18
	計	29	23	10	3	65
畑	A 部 落	23	3	1	1	28
	B 部 落	13	1	0	0	14
	C 部 落	16	1	0	0	17
	計	52	5	1	1	59
山 林	A 部 落	1	1	3	5	10
	B 部 落	2	0	2	5	9
	C 部 落	6	1	0	0	7
	計	9	2	5	10	26
総 計		90 (60.0%)	30 (20.0%)	16 (10.7%)	14 (9.3%)	150 (100%)

第3表 耕作地規模別農家数

調査部落	耕作地規模		10アール未満	10～30アール	30～50アール	50～100アール	100アール以上	計
	部	落						
A	部	落	6	75	93	115	7	296
B	部	落	12	80	122	152	19	385
C	部	落	11	57	72	102	15	257
計			29 (3.1%)	212 (22.6%)	287 (30.6%)	369 (39.3%)	41 (4.4%)	938 (100%)

(3) 調査参加者の所有状況：調査参加者の専農、兼農別農地所有状況は第4表に示す通りである。専業農家においては5～10アールの所有者が多く、兼業農家においては0.5～5アールの所有者が多い。山林所有状況は第5表の通りである。

第4表 専・兼農別農地所有規模別農家戸数

調査部落	専・兼別	規模		0.5～3アール		3～5アール		5～7アール		7～10アール		10～15アール		計	
		専農	兼農	専農	兼農	専農	兼農	専農	兼農	専農	兼農	専農	兼農	専農	兼農
		A	部	部	0	8	2	7	3	3	6	1	1	0	12
B	部	落	1	5	0	6	0	3	0	2	0	1	1	17	
C	部	落	0	3	0	7	1	3	2	1	1	0	4	14	
計			1 (5.9)	16 (32.0)	2 (11.8)	20 (40.0)	4 (23.5)	9 (18.0)	8 (47.1)	4 (8.0)	2 (11.8)	1 (2.0)	17 (100)	50 (100)	

第5表 専・兼農別山林所有規模別農家戸数

調査部落	専・兼別	規模		5アール以下		5～10アール		10～20アール		20～30アール		30～50アール		50アール以上		計	
		専農	兼農	専農	兼農	専農	兼農	専農	兼農	専農	兼農	専農	兼農	専農	兼農	専農	兼農
		A	部	落	0	2	1	3	1	0	0	1	0	1	0	0	2
B	部	落	0	2	0	2	0	4	0	1	1	1	0	0	1	10	
C	部	落	2	3	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	3	5	
計			2 (33.3)	7 (31.8)	1 (16.7)	6 (27.3)	1 (16.7)	4 (18.2)	0 (0)	2 (9.1)	2 (33.3)	2 (9.1)	0 (0)	1 (4.5)	6 (100)	22 (100)	

村全体としては農地および山林所有も少ない典型的な山村農家が多い。しかし少数ではあるが大規模に山林を所有している人がいることと、更に賃金労働による収入の道が身近かに存在していることと、また若い人々が出稼に出て給料とりとなっている家族構成がこの村を豊かにしている一因とみられる。

2. 職業について

(1) 職業(主)：職業別に従事者を調査してみると(第6表参照)農業においては主婦44%、主人40%となっている。林業においては80%が主人であり、祖父が20%をしめ、高齢者もなれた山仕事に従事しており、大切な働き手となっている。サラリーマンでは主人が45%、子女が47%で主婦はわずか3%にすぎない。

第6表 職業別従事者数（主）

職 業	調査部落	従事者						
		総数	世帯主	主 婦	祖父母	息 子	娘	その他
農 業	A 部 落	34	12	15	7			
	B 部 落	18	11	6	1			
	C 部 落	30	10	15	5			
	計	82 (47.7%)	33	36	13			
林 業	A 部 落	9	8		1	0		
	B 部 落	5	3		2	0		
	C 部 落	9	7		1	1		
	計	23 (13.4%)	18		4	1		
商 業	A 部 落	2						
	B 部 落	2						
	C 部 落	1						
	計	5 (2.9%)						
工 業	A 部 落	3						
	B 部 落	1						
	C 部 落	2						
	計	6 (3.5%)						
サラリー マン	A 部 落	18	9	0		5	2	2
	B 部 落	16	6	1		5	4	0
	C 部 落	33	15	1		9	6	2
	計	67 (32.5%)	30	2		19	12	4
総 計		172 (100%)	81 (47.1%)	38 (22.1%)	17 (9.9%)	20 (11.6%)	12 (7%)	4 (2.3%)

第7表 農業及び林業従事者数（副）

		世帯主	主 婦	祖父母	その他	計
農 業	A 部 落	12	10	2	0	24
	B 部 落	4	11	3	0	18
	C 部 落	7	8	9	4	28
	計	23	29	14	4	70
林 業	A 部 落	1	5	0	0	6
	B 部 落	1	5	0	1	7
	C 部 落	1	1	2	1	5
	計	3	11	2	2	18
総 計		26 (29.5%)	40 (45.5%)	16 (18.2%)	6 (6.8%)	88 (100%)

(2) 職業（副）：副として農業に従事しているのは主婦が一番多く41%、主人33%、祖父母20%で子女の手伝いはわずかで、主婦の労働の高いことをみることができる。更に林業におい

ても作業の種類は男女によって差はあると思われるが、主婦61%、主人17%、祖父11%と、ここにも主婦の労働の果す役割の大きいことが見られる。今更のように農村における主婦の労働の大なることを知った。

(3) 家内職と出稼：家内職と出稼の種類及び従事者の内訳をみると（第8表参照）、A部落において最も多くの人があずさわっていることになり、C部落が一番少い。A部落には専業農家、兼業農家が多く、それが家内職、出稼を多くしており、C部落に少いのはサラリーマンが多いためと考えられる。

第8表 家内職の種類と従事者数

分類 部落名	種 類					計 (戸数に対 する%)	従 事 者				計
	お茶	こんに やく	養蚕	手内職	その他		世帯主	主 婦	祖父母	その他	
A 部 落 〔34戸〕	23	17	7	0	3	50 (147.1)	4	34	10	2	50
B 部 落 〔23戸〕	6	3	2	5	5	21 (91.3)	2	17	2	0	21
C 部 落 〔36戸〕	5	10	5	4	3	27 (75.0)	0	15	12	0	27
計〔93戸〕 (%)	34 (34.7)	30 (30.6)	14 (14.3)	9 (9.2)	11 (11.2)	98	6 (6.1)	66 (67.3)	24 (24.5)	2 (2.1)	98

第9表 出稼の種類と従事者数

分類 部落名	種 類				計 (戸数に対 する%)	従 事 者			計
	山仕事	運転手	土建業	その他		世帯主	主 婦	その他	
A 部 落 〔34戸〕	3	0	0	1	4 (11.8)	3	1	0	4
B 部 落 〔23戸〕	1	1	2	2	6 (26.1)	5	0	1	6
C 部 落 〔36戸〕	0	2	0	2	4 (11.1)	4	0	0	4
計〔93戸〕 (%)	4 (28.5)	3 (21.5)	2 (14.3)	5 (35.7)	14	12 (85.7)	1 (7.2)	1 (7.2)	14

家内職は非農家には少いが、その種類の中に洋裁、和裁等の都会なみのものが多く、この地方独特のものとしては組みもがみられる。農家の家内職において高齢者の果す割合が大きいことはみのがせない。

出稼においてはB部落が26.1%と他の部落より多いのは、地理的条件、つまり名張市に近く、大阪など

第10表 家族構成別戸数

分類 部落名	2~3人	4~5人	6~7人	8人以上	平均人数
A 部 落	2	21	10	1	4.8人
B 部 落	4	10	8	1	4.9
C 部 落	3	19	12	2	5.4
計	9	50	30	4	5.1

の都市に出やすいことが影響しているからと考えられる。

(4) 家族構成：第10表は3部落の家族構成である。

II 美杉村3部落の主要耐久消費財について

第11表 部落別主要耐久消費財

項目	品名	単価	点数 2,000 =1点	A部落34戸		B部落23戸		C部落36戸		合計 93戸		
				1戸当 り個数	1戸当 り点数	1戸当 り個数	1戸当 り点数	1戸当 り個数	1戸当 り点数	総個数 個	1戸当 り個数	1戸当 り点数
				個	点	個	点	個	点			
食生活	ガスコンロ	2,000	1	0.65	0.65	0.78	0.78	0.89	0.89	72	0.77	0.77
	電気釜	4,000	2	0.47	0.94	0.52	1.04	0.81	1.62	57	0.61	1.22
	冷蔵庫	50,000	25	0.38	9.50	0.30	7.50	0.52	13.00	39	0.42	10.50
	ミキサー	8,000	4	0.03	0.12	0.13	0.52	0.22	0.88	12	0.13	0.52
	パンやき器	2,000	1	0.06	0.06	0.22	0.22	0.22	0.22	15	0.16	0.16
	ロースター	2,000	1	0.03	0.03	0	0	0.11	0.11	5	0.05	0.05
	計		34		11.30		10.06		16.72			13.22
衣生活	ミシン	25,000	12.5	0.88	11.00	0.83	10.38	0.92	11.50	82	0.88	11.00
	洗濯機	30,000	15.0	0.77	11.55	0.96	14.40	0.92	13.80	81	0.87	13.05
	マットレス	5,000	2.5	0.32	0.80	0.57	1.43	1.31	3.28	71	0.76	1.90
	編み機	20,000	10.0	0.18	1.80	0.17	1.70	0.25	2.50	19	0.20	2.00
	計		40.0		25.15		27.91		31.08			27.95
住生活	家屋 室数(参考)	1,000,000	500.0	1.06	530.00	1.09	545.00	1.03	515.00	98	1.05	525.00
	掃除機	12,000	6.0	0.06	0.36	0.17	1.02	0.19	11.40	13	0.14	0.84
	応接セット	40,000	20.0	0	0	0.13	2.60	0.11	2.20	7	0.08	1.60
	一般椅子	1,500	0.75	0.79	0.59	0.57	0.43	0.78	0.59	68	0.73	0.55
	計		26.75		0.95		4.05		3.93			2.99
保健	電気こたつ	5,000	2.5	0.38	0.95	0.61	1.53	0.92	2.30	60	0.65	1.63
	石油ストーブ	5,000	2.5	0.21	0.53	0.35	0.88	0.53	1.33	34	0.37	0.93
	簡易水道	25,000	12.5	0.15	1.88	0.70	8.75	0.42	5.25	35	0.38	4.75
	扇風機	15,000	7.5	0.15	1.13	0.30	2.25	0.50	3.75	30	0.32	2.40
	クーラー	100,000	50.0	0	0	0.04	2.00	0	0	1	0.01	0.50
	計		75.0		4.49		15.41		12.63			10.21
交通通信	有線放送	15,000	7.5	1.00	7.50	1.00	7.50	1.00	7.50	93	1.00	7.50
	電話	100,000	50.0	0.12	6.00	0.09	4.50	0.19	9.50	13	0.14	7.00
	オートバイ	70,000	35.0	0.56	19.60	0.57	19.95	0.80	28.00	61	0.66	23.10
	3・4輪車	300,000	150.0	0.03	4.50	0.17	25.50	0.19	28.50	12	0.13	19.50
	乗用車	400,000	200.0	0	0	0.04	8.00	0.06	12.00	3	0.03	6.00
	計		442.5		37.60		65.45		85.50			63.10
娯楽	テレビ	50,000	25.0	0.97	24.25	1.04	26.00	1.08	27.00	96	1.03	25.75
	ラジオ	10,000	5.0	0.56	2.80	0.87	4.35	0.89	4.45	71	0.76	3.80
	カメラ	15,000	7.5	0.27	2.03	0.39	2.93	0.58	4.35	39	0.42	3.15
	トランジスター	10,000	5.0	0.27	1.35	0.22	1.10	0.42	2.10	29	0.31	1.55

楽	ステレオ	50,000	25.0	0	0	0.04	1.00	0.08	2.00	4	0.04	1.00
	テープレコーダー	20,000	10.0	0.12	1.20	0.04	0.40	0.17	1.70	11	0.12	1.20
	オルガン	30,000	15.0	0.03	0.45	0	0	0.17	2.55	7	0.08	1.20
	ピアノ	200,000	100.0	0	0	0	0	0.03	3.00	1	0.01	1.00
	電蓄	20,000	10.0	0.03	0.30	0	0	0.08	0.80	4	0.04	0.40
	8ミリ映写機	50,000	25.0	0		0.04		0	0	1	0.01	0.25
計			227.5		32.38		35.78		47.95			39.30

$$1 \text{戸当り個数} = \frac{\text{総個数}}{\text{戸数}}, \quad 1 \text{戸当り点数} = \frac{\text{点数} \times \text{総個数}}{\text{戸数}}$$

第12表 専農・兼農・非農家別主要耐久消費財

項目	品名	単価	点数 2,000 =1点	専農17戸		兼農50戸		非農26戸		合計 93戸		
				1戸当り 個数	1戸当り 点数	1戸当り 個数	1戸当り 点数	1戸当り 個数	1戸当り 点数	個数	1戸当り 個数	1戸当り 点数
食生活	ガスコンロ	2,000	1.0	0.71	0.71	0.74	0.74	0.88	0.88	72	0.77	0.77
	電気釜	4,000	2.0	0.53	1.06	0.58	1.16	0.73	1.46	57	0.61	1.22
	電気冷蔵庫	50,000	25.0	0.41	10.25	0.44	11.00	0.38	9.50	39	0.42	10.50
	ミキサー	8,000	4.0	0.12	0.48	0.08	0.32	0.23	0.92	12	0.13	0.52
	パンやき器	2,000	1.0	0.06	0.06	0.12	0.12	0.31	0.31	15	0.16	0.16
	ロースター	2,000	1.0	0.18	0.18	0.04	0.04	0	0	5	0.05	0.05
計			34.0		12.74		13.38		13.07			13.22
衣生活	ミシン	25,000	12.5	0.94	11.75	0.84	10.50	0.92	11.50	82	0.88	11.00
	洗濯機	30,000	15.0	0.88	13.20	0.86	11.90	0.88	13.20	81	0.87	13.05
	マットレス	5,000	2.5	0.24	0.60	0.70	1.75	1.23	3.08	71	0.76	1.90
	編機	20,000	10.0	0.18	1.80	0.16	1.60	0.31	3.10	19	0.20	2.00
計			40.0		27.35		25.75		30.88			28.95
住生活	家屋 室数(参考)	1,000,000	500.0	1.06	530.00	1.04	520.00	1.03	515.00	98	1.05	525.00
	掃除機	12,000	6.0	0.18	1.08	0.10	0.60	0.19	1.14	13	0.14	0.84
	応接セット	40,000	20.0	0.06	1.20	0.02	0.40	0.19	3.80	7	0.08	1.60
	一般椅子	1,500	0.75	1.29	0.97	0.58	0.44	0.65	0.49	68	0.73	0.55
	計			26.75		3.25		1.44		5.43		
保健	電気こたつ	5,000	2.5	0.71	1.78	0.58	1.45	0.73	1.83	60	0.65	1.63
	石油ストーブ	5,000	2.5	0.35	0.88	0.32	0.80	0.46	1.15	34	0.37	0.93
	簡易水道	25,000	12.5	0.24	3.00	0.40	5.00	0.42	5.25	35	0.38	4.75
	扇風機	15,000	7.5	0.24	1.80	0.26	1.95	0.50	3.75	30	0.32	2.40
	クーラー	100,000	50.0	0	0	0.02	1.00	0	0	1	0.01	0.50
計			75.0		7.46		10.20		11.98			10.21
交通通信	有線放送	15,000	7.5	1.00	7.50	1.00	7.50	1.00	7.50	93	1.00	7.50
	電話	100,000	50.0	0.24	12.00	0.08	4.00	0.19	9.50	13	0.14	7.00
	オートバイ	70,000	35.0	0.59	20.65	0.64	22.40	0.73	25.55	61	0.66	23.10
	3・4輪車 乗用車	300,000 400,000	150.0 200.0	0.18 0	27.00 0	0.08 0	12.00 0	0.19 0.12	28.50 24.00	12 3	0.13 0.03	19.50 6.00

	計		442.5		67.15		45.90		95.05			63.10
娛	テレビ	50,000	25.0	1.06	26.50	1.00	25.00	1.23	30.75	96	1.03	25.75
	ラジオ	10,000	5.0	0.76	3.80	0.74	3.70	0.81	4.05	71	0.76	3.80
	カメラ	15,000	7.5	0.18	1.35	0.48	3.60	0.46	3.45	39	0.42	3.15
	トランジスター	10,000	5.0	0.12	6.00	0.32	1.60	0.42	2.10	29	0.31	1.55
	ステレオ	50,000	25.0	0	0	0.04	1.00	0.08	2.00	4	0.04	1.00
	テープレコーダー	20,000	10.0	0.06	0.60	0.14	1.40	0.12	1.20	11	0.12	1.20
	オルガン	30,000	15.0	0	0	0.08	1.20	0.12	1.80	7	0.08	1.20
楽	ピアノ	200,000	100.0	0	0	0	0	0.04	4.00	1	0.01	1.00
	電蓄	20,000	10.0	0.06	0.60	0.04	0.40	0.04	0.40	4	0.04	0.40
	8ミリ映写機	50,000	25.0	0	0	0	0	0.04	1.00	1	0.01	0.25
	計		227.5		38.85		37.90		50.75			39.30

$$1 \text{ 戸当り個数} = \frac{\text{総個数}}{\text{戸数}}, \quad 1 \text{ 戸当り点数} = \frac{\text{戸数} \times \text{総個数}}{\text{戸数}}$$

第13表 全国平均と美杉村の主要耐久消費財の比較

(経済企画庁 S 39.2調査)

項目	品名	農村%	都市%	美杉村%
食生活	ガスコンロ			77.0
	電気釜			61.0
	冷蔵庫	14.5	40.0	42.0
衣生活	ミシン	76.0	83.0	88.0
	洗濯機	60.0	77.0	87.0
住	電気掃除機	10.0	19.0	14.0
保健	石油ストーブ	27.0	40.0	37.0
	扇風機			32.0
	こたつ			65.0
交通通信	電話		33.0	14.0
	オートバイ	20.4		66.0
	3・4輪車	9.1		13.0
	乗用車	1.3		3.0
娯楽	テレビ	90.0	93.0	103.0
	ラジオ	68.0	50.0	76.0
	カメラ			42.0
	ステレオ	1.0	18.0	4.0
	ピアノ	1.0	5.0	1.0
	トラスジスター	30.0	50.0	31.0

1. 食生活について

第11・12表により専業農家、兼業農家、非農家を比較すると全体の点数合計では兼業農家が第1位で、非農家がかこれにつぎ大差がない。しかしミキサー・トースターは非農家が高い。これは非農家は農家に比べて都市化していることを示している。更に村の特産物である薪・炭が身近かにあるにもかかわらず、ガスコンロが77%とかなり使用され、C部落においては89%に

達していることは、便利で使用し、労働力の節約にもなるからであると考えられる。

電気釜、電気冷蔵庫の普及率は全国平均より高い。(第13表参照)

2. 衣生活について

専業農家、兼業農家、非農家を比較するとミシンについては兼業農家はやや低いが、洗濯機は同率を示し、いずれも全国平均を上まわっている。

毛糸編機はわずかであるが、これは時間的に余裕がないのか、手編みが多いかに関連していると考えられる。

寝具のマットレスは専業農家に少く、兼業農家、非農家の順に多くなっている。これは生活改善に対する三者の差の現われであろう。厚さは6cmと10cmが多く、家庭によっては家族全員が使用していると思われる枚数のところもあった。最近の衣生活の充実向上を裏づけるものは寝具類の急激な需要増加である。それはマットレスとかソフトラバー製の新しい商品が開発されたのが一因であろう。

3. 住生活について

村内における家屋は戦後に新築された家屋もあったが、古く建造された家屋が多く見うけられた。

調査は玄関、台所、浴室を除いて平均一家屋5.37室、家族の人数1戸当り5.1人(第10表参照)からみて、1人当り約1室の割合となる。1室の広さは最底6畳と仮定しても総理府統計局住宅統計調査⁷⁾38年度1人4.9畳よりは広がっている。非農家の中には一家屋18室、14室、10室というのもあった。

全国的に生活水準の向上による食生活、衣生活の充実から、現在個人の住生活に関する支出は増大の方向をとっているが、この村においては応接セットも非農家において20%と少いところからみて、まだこの段階になっていないと考えられる。

椅子は数字の上では1戸当り0.73個になるが、使用している家庭は全体の24%である。これは洋風の生活形式は少く、和風の坐式が優位にあることを示していることになる。

掃除機は全国農村平均より高い。

4. 保健について

電気こたつは65%と高い。石油ストーブは前者の約半数であるが、全国農村平均より高い。

扇風機は自然に恵まれて涼しいことと、外部の作業が多いために必要度が低いのであろう。

簡易水道は38%と3分の1を少し上まわる程度で、他は井戸を使用している。ここで注目されるのは保健項目の合計点数が非農家では専業農家の1.6~1.7倍と高くなっていることである。

5. 交通通信について

有線放送は全村にゆきわたっているが、電話は約14%(7軒に1個)の普及率で全国平均40年3月634万個(3軒に1個)の割合に比べると低い。専業農家が一番多く所有している。

オートバイは66%、3、4輪車は13%で、全国平均(第13表参照)に比べてはるかに高い。

山村のため業務上の使用が多いためと考えられる。

乗用車は3%で全国平均1.3%より高くなっているが、これは非農家の所有があるからであろう。

6. 娯楽について

テレビは一軒で2台のところもあり、都市の普及率より高く103%になっている。ラジオにおいても76%と都市なみである。その他トランジスターラジオ、ステレオ、ピアノは全国平均なみである。従ってテレビ、ラジオは全国統計より高く、その他は大差がない。

この娯楽の項目は生活の豊かさ、文化の程度をはかる重要なバロメーターと思われるが、非農家、兼業農家、専業農家の順に各項目で少しずつ差があり、点数合計では非農家は専業農家の約1.4倍である。3部落の比較ではC部落が最も高く、B、A部落と続く。

Ⅲ 主婦の被服所持数について

1. 主婦の年代別、部落別所持数について

(1) 年代別所持数：主婦の年代別被服所持数にはかなり大きな差がみられる。第14表、第2図からもわかるように20~30代の主婦の所持数が最も高い。特に下着類、上着類、編物類、外被類、ねまき及び室内着ではその差が大きい。和服においても他の年代より多いが、洋服程大きな差はみられない。年代が高くなるにしたがって和洋服共所持数は少くなる傾向を示している。

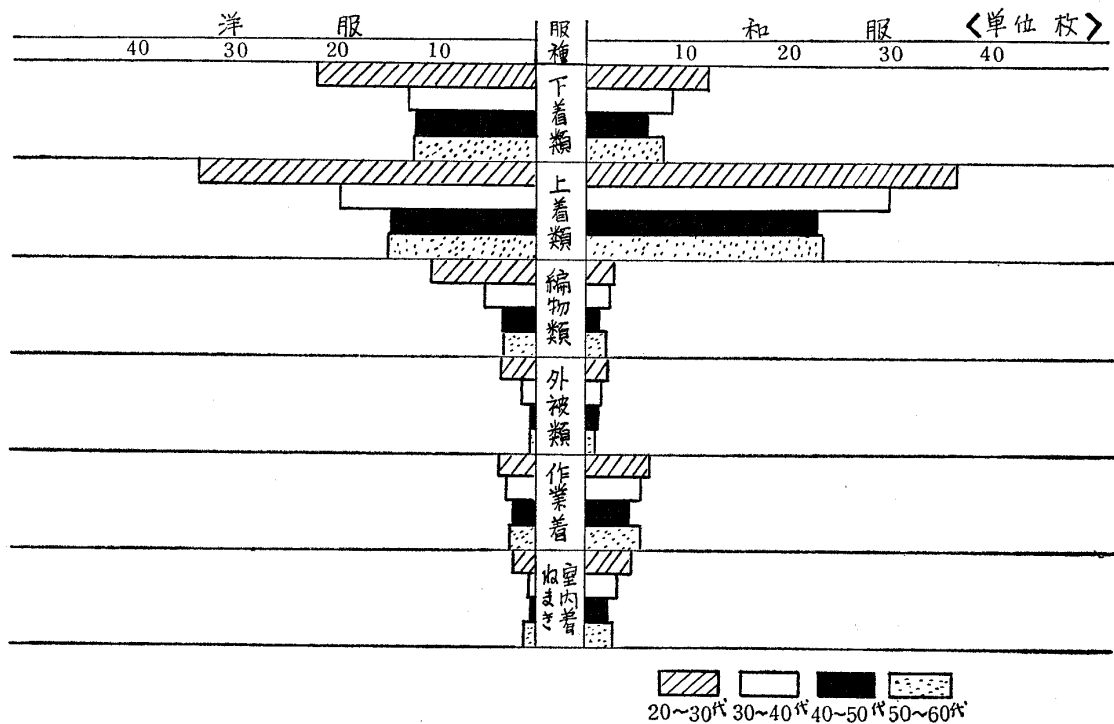
第14表 主婦の年代別被服所持数と割合（1人当たり）

（単位枚）

服種	年代	20代~30代		30代~40代		40代~50代		50代~60代		60代以上		平均	
		調査人数		85		52		14		1			
		所持数	%	所持数	%	所持数	%	所持数	%	所持数	%	所持数	%
下着類	シャツ	10.7		6.1		5.1		6.0				7.0	
	スリッパ	7.0	28.9	4.3	30.5	2.6	31.8	2.3	30.9			4.4	30.0
	ズボン	4.5		2.6		2.0		1.6				2.8	
上着類	ブラウス	12.0		6.9		5.3		5.4		3.0		7.7	
	ワンピース	3.3		1.8		1.4		1.5		3.0		2.1	
	スカート	9.6	44.1	6.0	45.8	4.6	47.5	5.4	46.0	2.0	52.9	6.5	45.6
	ス（ワンピース）	5.7		2.8		2.6		2.0		1.0		3.4	
	スラックス	3.2		2.0		0.6		0.5				1.9	
編物類	チョッキ	0.7		0.4		0.4		0.8		1.0		0.5	
	セーター	5.7	13.6	2.6	12.2	1.9	10.8	1.1	6.2	1.0	11.8	3.1	12.4
	カーディガン	4.0		2.2		1.0		1.2				2.3	
外被類	オーバーコート	1.7		0.8		0.3		0.4		1.0		0.9	
	スプリングコート	1.0	4.6	0.3	3.3	0.1	2.0	0.1	3.1		5.9	0.5	3.8
	レインコート	0.8		0.3		0.2		0.1				0.4	

作業着	作業着	3.6	5.0	3.0	7.0	2.0	6.9	2.4	7.8	5.0	29.4	2.9	6.3
	ジャンパー	0.2				0.1		0.1				0.1	
ねまき着	ねまき	2.0	3.8	0.4	1.2	0.1	1.0	1.1	6.0			0.8	1.9
	室内着	0.2										0.1	
合計		76.7	100.0	42.6	100.0	30.5	100.0	32.2	100.0	17.0	100.0	47.4	100.0
下着類	肌じゅばん	7.7	18.9	5.0	16.7	3.6	15.8	4.1	19.0	4.2	21.4	5.3	17.7
	長じゅばん	4.7		3.6		2.5		4.1		2.0		3.7	
上着類	単衣長着	8.8		6.5		5.3		5.4		3.0		6.6	
	裕長着	10.4		8.9		5.8		6.1		2.0		8.2	
	単衣羽織	3.4	56.5	2.0	59.0	2.0	59.8	2.0	55.5	2.0	39.3	2.4	57.9
	裕羽織	5.0		5.5		4.5		4.9		2.0		5.1	
	オレコート	3.0		2.0		1.8		1.8		2.0		2.2	
	帯	6.4		5.5		3.7		3.7				5.1	
編物類	羽織	1.7	4.1	1.6	4.7	0.8	3.1	0.8	4.9	3.0	10.7	1.4	4.3
	羽織下	1.0		0.8		0.4		1.3				0.8	
外被類	防寒コート	1.5	3.4	1.1	2.9	0.9	3.1	0.8	2.3	2.0	7.1	1.1	2.9
	雨コート	0.7		0.4		0.3		0.2				0.4	
作業着	作業着	6.4	9.9	5.6	10.9	4.5	11.6	5.6	13.0	4.0	14.3	5.5	10.8
	ねまき	4.0	7.2	3.0	5.8	2.1	6.6	2.4	5.3	2.0	7.2	3.0	6.4
ねまき着	丹前	0.7		0.2		0.1		0.2				0.3	
	合計	65.5	100.0	51.5	100.0	38.6	100.0	43.1	100.0	28.0	100.0	51.1	100.0

第2図 主婦の年代別被服所持数(1人当り)



(2) 部落別所持数：部落別所持数は第15表及び第3図に示したように和服では3部落の間に差はみられないが、洋服ではB部落が他の2部落より少く、各服種でその傾向がみられた。

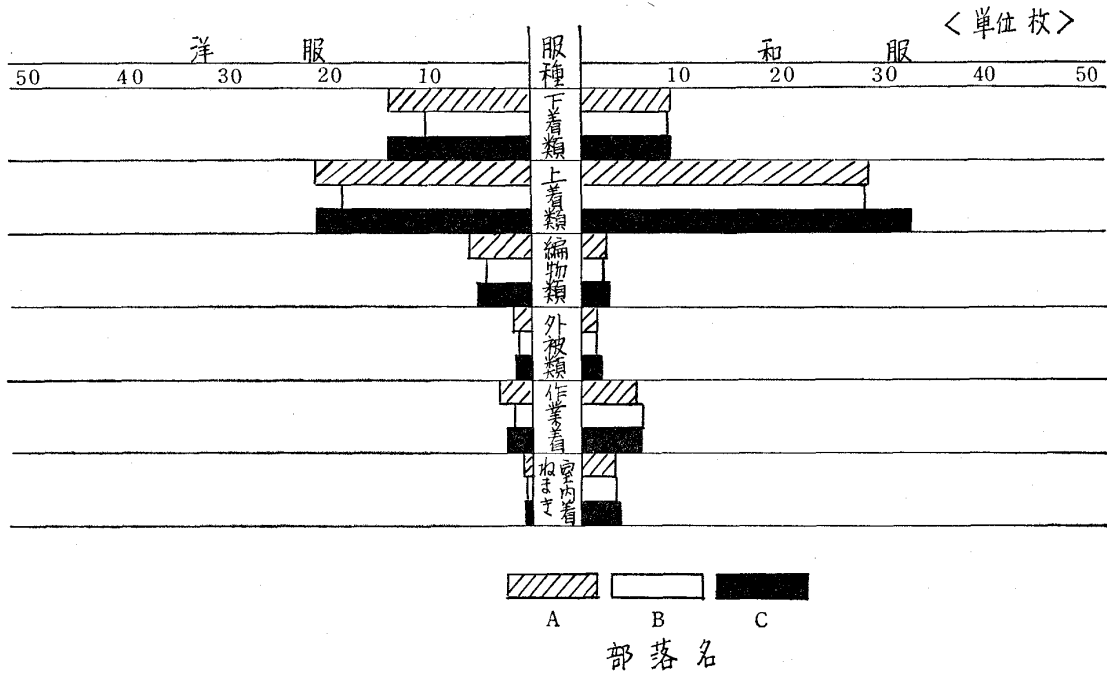
第15表 主婦の部落別被服所持数と割合（1人当たり）

（単位 枚）

服種		部落別		A 部落		B 部落		C 部落		三部落の平均	
		調査人数		127		31		45			
		所持数と割合		所持数	(%)	所持数	(%)	所持数	(%)	所持数	(%)
洋	下着類	シャツ	7.3		4.9		7.1		7.0		
		スリッパ	4.1	29.7	3.8	28.3	4.8	31.0	4.4	30.0	
		ズボン	3.1		1.9		2.6		2.8		
	上着類	ブラウス	7.4		7.6		7.8		7.7		
		ワンピース	2.1		1.3		2.5		2.1		
		スカート	6.7	44.6	5.5	50.7	6.6	46.4	6.5	45.6	
		スーパースーツ	3.7		2.6		3.0		3.4		
		スラックス	1.9		2.0		1.8		1.9		
	編物類	チョッキ	0.7		0.3		0.2		0.5		
		セーター	3.4	13.1	2.4	12.0	2.7	12.2	3.1	12.4	
		カーディガン	2.3		1.8		2.8		2.3		
	外被類	オーバーコート	1.0		0.7		0.7		0.9		
		スプリングコート	0.6	4.1	0.3	3.5	0.4	3.0	0.5	3.8	
レインコート		0.4		0.3		0.5		0.4			
作業着	作業着	3.2		1.7		2.3		2.9			
	ジャンパー	0.1	6.7		4.5	0.2	5.3	0.1	6.3		
ねまき	ねまき	0.9	1.8	0.4	1.0	0.8	2.1	0.8	1.9		
ねまき	室内着							0.1			
合計		48.9	100.0	37.5	100.0	46.8	100.0	47.4	100.0		
和	下着類	肌じゅばん	5.2		4.8		5.0		5.3		
		長じゅばん	3.6	17.7	3.7	17.1	3.8	16.0	3.7	17.7	
	上着類	単衣長着	6.1		6.3		8.5		6.6		
		袷長着	7.9		8.7		8.7		8.2		
		単衣羽織	2.5	57.9	1.6	54.5	2.6	59.6	2.4	57.9	
		袷羽織	5.1		5.0		5.0		5.1		
		オジャレコート	2.1		1.6		2.4		2.2		
	編物類	羽織	1.4	4.2	1.0	4.0	1.5	4.5	1.4	4.3	
		羽織下	0.7		1.0		1.0		0.8		
	外被類	防寒コート	1.1	3.0	1.1	3.0	1.2	2.9	1.1	2.9	
		雨コート	0.4		0.4		0.4		0.4		
	作業着	作業着	5.4	10.9	6.3	12.7	5.7	10.4	5.5	10.8	

ねまき 室内着	ねまき 丹前	き 前	2.8	6.3	3.0	8.7	3.3	6.6	3.0	6.4
			0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
合計			49.6	100.0	49.7	100.0	55.0	100.0	51.1	100.0

第3図 主婦の部落別被服所持数(1人当り)



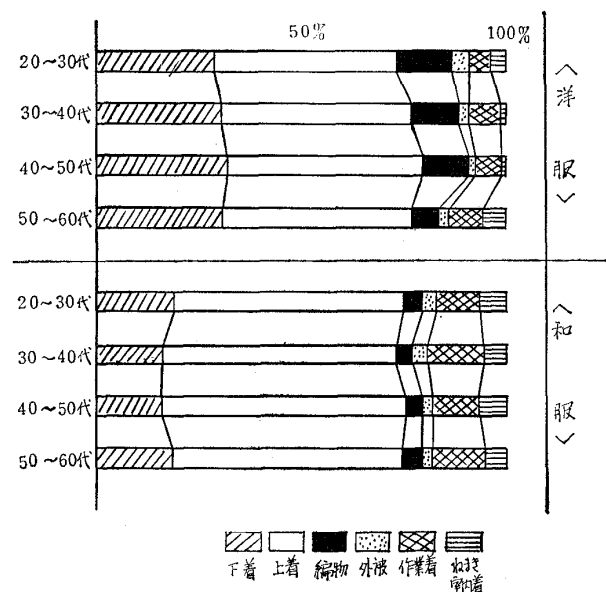
2. 主婦の年代別、服種別所持割合について

(1) 年代別所持割合：年代別による服種別所持割合は、洋服では年代が高くなるにしたがってねまき及び室内着では少くなっているが、その他の服種では著しい差はみられない。

各服種の中で平均1枚に満たない服種は20～30代の主婦では洋服のジャンパー、室内着、和服の丹前であるが、他の年代では第13表からも分るように洋服(編物チョッキ、外被類、ねまき及び室内着)、和服(編物類、外被類、丹前)等広範囲にわたっている。

(2) 服種別所持割合：第4図に示したように各年代共ほぼ同率で大きな差はみられない。洋服では上着類が最も多く、以下下着類、作業着、外被類、ねまき及び室内着の順であり、和服でも上着類が57.9%と多く、下着類、作業着、ねまき及び室内着、外被類の順である。

第4図 年代別による服種別所持割合



(3) 和洋服の比較：和服と洋服とを比較すると和服では下着類、編物類のしめる割合は少く、作業着、ねまき及び室内着のしめる割合は大きい。これはこの種の服種では和服形式のものを多く所持しているため、脱ぎ着に便利なことによると考えられる。

3. 和洋服の年代別所持割合について

第16表に示したように20～30代の主婦では洋服53.9%、和服46.1%で和服の方が少ないが、他の年代では和服の所持数の方が高く、調査3部落全体では和服の所持数が多いことになる。これは20～30代の主婦は各服種で洋服のしめる割合は大きい、他の年代では和服形式（上着類、作業着、ねまき及び室内着）のものを多く所持しているためである。衣生活の洋式化は若い年代に深く浸透してきていることを示している。

第16表 主婦の年代別・部落別被服所持数と和洋服の割合（1人当たり）（単位 枚）

分類 所持数 と割合 服種	年 代 別								部 落 別						平 均	
	20代 ～30代		30代 ～40代		40代 ～50代		50代 ～60代		A部落		B部落		C部落			
	所持 数	(%)	所持 数	(%)	所持 数	(%)	所持 数	(%)	所持 数	(%)	所持 数	(%)	所持 数	(%)	所持 数	(%)
洋 服	76.7	53.9	42.6	45.3	30.5	41.4	32.2	42.8	48.9	49.6	37.5	43.0	46.8	46.1	47.4	48.1
和 服	65.5	46.1	51.5	54.7	38.6	58.6	43.1	57.2	49.6	50.4	49.7	57.0	55.0	53.9	51.1	51.9
和洋服 合計	142.2	100.0	94.1	100.0	73.6	100.0	75.3	100.0	98.5	100.0	87.2	100.0	101.8	100.0	48.5	100.0

4. 所持数と利用率の関係について

所持数と利用率との関係を検討してみた。利用率の算出は次の通りである。

$$\text{利用率} = \frac{\text{よく着る枚数}}{\text{総所持数}} \quad (\text{各服種について})$$

洋服の利用率は年代別にみると年代が高くなるにしたがって高い。20～30代の主婦では大部分の服種で50%以下であるのに、他の年代は60～70%の利用率である。これは所持数が少いために高くなっているのである。服種別ではねまき及び室内着が最も高く、次は作業着、下着類、上着類の順で、所持数の半分以上を利用している。しかし外被類は42%と少い。

和服では年代別に大きな差はみられず、洋服に比べて利用率はやや少い。

第17表 年代別による被服利用率^{注1)}

服種		年代別				平均
		20～30	30～40	40～50	50～60	
洋	下着類	シャツ	47.8%	59.6%	71.2%	60.4%
		スリッパ	49.0	59.1	70.0	58.1
		ズボン	49.7	64.1	64.5	60.0
	上着類	ブラウス	43.1	56.6	67.9	69.1
		ワンピース	49.7	50.8	60.0	57.1
		スカート	45.5	56.5	59.2	61.2

服		スー ツ (ツーピース)	41.6	46.8	51.5	56.3	45.6
		スラックス	52.6	53.8	56.5	80.0	54.1
	編物類	チ ッ ヨ キ	46.3	60.0	44.4	50.0	52.1
		セ ー タ ー	51.1	66.3	66.2	44.4	58.4
		カーディガン	57.9	68.3	77.8	36.4	63.2
	外被類	オーバーコート	34.8	37.7	62.5	50.0	37.9
		スプリングコート	36.7	27.3	66.7	0	36.4
レインコート		45.5	48.0	71.4	100.0	50.0	
作業着	作 業 着	43.7	75.6	87.5	66.7	64.0	
	ジャンパー	69.2	0	0	0	60.0	
ね室 ま内 き着	ね ま き	68.6	80.6	25.0	0	69.1	
	室 内 着	75.0	66.7	0	0	72.9	
全体の利用率			49.0	58.8	65.6	60.2	55.6
和 服	下着類	肌じゅばん	36.1	38.5	66.1	31.0	41.2
		長じゅばん	40.8	38.1	42.6	20.0	38.3
	上 着 類	単衣長着	30.3	26.0	35.7	28.6	29.5
		袷長着	24.1	27.1	42.9	39.4	29.1
		単衣羽織	39.3	45.5	28.4	25.0	34.9
		袷羽織	26.4	23.3	33.3	19.6	26.0
		オジャレコート	41.1	49.2	44.6	55.6	45.6
	編物類	帯	30.0	20.2	31.2	31.7	26.0
		羽 織	41.7	27.2	40.0	0	33.7
	外被類	羽 織 下	43.1	55.2	60.0	35.7	49.7
		防寒コート	39.6	46.5	51.4	25.0	44.3
	作業着	雨 コ ー ト	26.9	24.0	40.0	50.0	28.6
		作 業 着	40.2	66.6	72.3	73.5	59.4
ね室 ま内 き着	作 業 着	46.7	68.9	73.4	62.5	61.2	
	丹 前	35.7	61.5	66.7	33.3	44.7	
全体の利用率			34.3	37.0	44.7	36.5	37.4

注1) 利用率 = $\frac{\text{よく着る枚数}}{\text{所持数}} \times 100$

以上のことから20～30代の主婦は別として、他の年代では洋服類は所持数が少いために利用率は高く、和服では所持数が多いのに利用率は低い結果になり、日常生活は数少ない衣服ですませる地味な衣生活である。

5. 作業着及びねまきの所持数と利用率について

農家の主婦として必需品であり、しかも利用率の高い作業着とねまきについて検討してみ

た。

第18表 年代別にみた作業着及びねまきの利用率

(単位 枚)

服種		年代別		20代～30代		30代～40代		40代～50代		50代～60代		平均	
		所持数と利用率		所持数	利用率(%)	所持数	利用率(%)	所持数	利用率(%)	所持数	利用率(%)	所持数	利用率(%)
		所持数	利用率(%)										
作業着	洋服式	3.6	43.7	3.0	75.6	2.0	87.5	2.4	66.7	2.9	64.0		
	和服式	6.4	40.2	5.6	66.6	4.5	72.3	5.6	73.5	5.5	59.4		
	合計	10.0	42.0	8.6	71.1	6.5	79.9	8.0	70.1	8.4	61.7		
ねまき	洋服式	2.0	68.6	0.4	80.6	0.1	25.0	1.1	0	0.8	69.1		
	和服式	4.0	46.7	3.0	68.9	2.1	73.4	2.4	62.5	3.0	61.2		
	合計	6.0	57.5	3.4	74.8	2.2	49.2	3.5	62.5	3.8	65.2		

(1) 作業着：作業着は和洋形式合せて平均8枚とその数は他の服種に比べて多い。形態としては各年代共和服形式のものが多く、洋服形式のものは20～30代の主婦に多い。利用率も70%前後と高く、普段農作業で忙しく時には一日中作業着で生活していると考えられる。

(2) ねまき：ねまきは20～30代の主婦で平均6枚所持しているが、他の年代では3枚の所持である。形態としては各年代共和服形式のものが多く、洋服形式のものは20～30代の主婦に多い。

IV 美杉村における1年間の家庭における被服購入状況について

購入衣服を和服類、洋服類、編物類、外被類、下着類、作業着、ねまきの7項目の服種について、それぞれ性別、調整別、年令別、部落別被服購入数について第19表～第21表に示した。

第19表 調整別被服購入数 (昭和40年8月～昭和41年7月 一戸当り)

調査数 197戸

(単位 枚)

服種別		調整別		自家製		注文		既製服		合計	
		性別		男	女	男	女	男	女	男	女
		男	女								
和服類	単衣長着	0.17	0.34	0.06	0.18	0.06	0.14	0.29	0.66		
	袷長着	0.03	0.13	0.04	0.13	0.02	0.10	0.09	0.36		
	単衣羽織	0.01	0.05	0.04	0.04	0.03	0.10	0.08	0.19		
	袷羽織	0.01	0.05	0.05	0.10	0.03	0.11	0.09	0.26		
	おしゃれコート	0.00	0.05	0.00	0.06	0.00	0.15	0.00	0.26		
	その他	0.05	0.09	0.04	0.05	0.03	0.16	0.12	0.30		
洋服類	ブラウス	0.12	0.51	0.01	0.17	0.51	1.69	0.64	2.37		
	スカート	0.00	0.50	0.00	0.41	0.00	1.03	0.00	1.94		
	ワンピース	0.00	0.22	0.00	0.09	0.00	0.39	0.00	0.70		
	スーツ(ツーピース)	0.00	0.09	0.00	0.26	0.00	0.35	0.00	0.70		
	スラックス(ズボン)	0.22	0.23	0.13	0.11	0.81	0.70	1.16	1.04		

	背 広	0.06	0.00	0.32	0.00	0.41	0.00	0.79	0.00
	ワ イ シ ャ ツ	0.24	0.00	0.11	0.00	0.97	0.00	1.32	0.00
	そ の 他	0.02	0.02	0.03	0.04	0.18	0.15	0.23	0.21
編物類	セーター・チョッキ カーディガン	0.31	0.31	0.27	0.27	0.59	0.54	1.17	1.12
外被類	レインコート	0.15	0.01	0.02	0.02	0.08	0.07	0.25	0.10
	オーバーコート	0.01	0.05	0.05	0.02	0.07	0.12	0.13	0.19
	和服用コート	0.00	0.02	0.00	0.01	0.00	0.12	0.00	0.15
下着類	上(シャツ・スリッパ)*	0.45	0.36	0.13	0.07	2.25	2.21	2.83	2.64
	下(パンツ・ズボン下)	0.36	0.49	0.25	0.05	2.32	1.93	2.93	2.47
作業着	洋服式	0.11	0.10	0.05	0.05	0.40	0.18	0.56	0.33
	和服式	0.02	0.18	0.03	0.07	0.09	0.24	0.14	0.49
ねまき	洋服式(パジャ マ・ネクリジェ)	0.16	0.19	0.02	0.01	0.35	0.23	0.53	0.43
	和服式(浴衣)	0.17	0.16	0.02	0.00	0.19	0.27	0.38	0.43
合計	枚 数		6.81		3.86		20.38		31.05
計	(%)		(21.9%)		(12.4%)		(65.6%)		(100%)

第20表 年令別被服購入数の割合 (昭和40年8月—昭和41年7月 一戸当り)

調査数 197戸

(単位 %)

服種別	年令別 性別	18才以下		19~23才		24~35才		36~50才		51才以上	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
		和服類	単衣長着	1.0	1.9	3.3	6.7	2.3	3.8	1.9	4.0
	袷長着	0.3	1.1	0.8	6.7	0	1.7	1.1	1.9	0.8	4.8
	単衣羽織	0	0.5	0.8	0	0.6	0.2	0.7	1.3	0.7	2.6
	袷羽織	0.1	0.2	0.8	0.1	0.6	1.2	0.8	2.4	0.7	3.2
	おしゃれコート	—	0	—	2.5	—	0.8	0.4	1.9	0.2	3.0
	帯	0.3	1.2	2.5	3.3	0.6	0.6	1.6	2.4	0.3	2.8
	その他	0	1.1	0	0	0	0	1.3	0	1.9	0.4
洋服類	ブラウス	8.8	17.4	5.8	55.3	1.3	16.8	0.4	9.7	0.2	4.3
	スカート	—	13.6	—	53.3	—	10.6	—	8.1	—	4.9
	ワンピース	—	6.5	—	12.4	—	2.5	—	2.2	—	1.6
	スーツ(ツーピース)	—	3.3	—	20.8	—	7.0	—	2.4	—	1.9
	スラックン(ズボン)	11.1	10.8	10.0	14.2	8.5	4.3	4.3	3.7	0.9	1.1
	背 広	0.7	—	10.8	—	13.5	—	5.2	—	3.4	—
	ワ イ シ ャ ツ	7.3	1.0	20.8	1.7	7.6	1.2	7.8	0.2	4.0	0
	そ の 他	2.0	1.6	1.7	1.7	2.3	1.5	0.7	1.3	0.3	0.4
編物類	セーター・チョッキ・ カーディガン	9.8	11.9	7.2	28.3	11.3	6.1	2.9	1.5	3.0	0.2
外被類	レインコート	2.6	0.8	1.4	3.3	1.3	0.2	0.9	0.3	0.2	0.2
	オーバーコート	0.5	2.2	1.4	5.0	1.8	0.2	0.7	0.4	0.4	1.3
	和服用コート	0	0	0	0	0	0.6	1.1	0.4	0.4	1.3

下着類	上(シャツ・スリッパ)	19.0	20.8	19.2	51.7	23.8	18.3	14.8	9.3	9.7	5.8
	下(パンツ・ズボン下)	17.8	19.8	40.0	50.8	29.0	18.0	13.2	9.4	8.8	3.3
作業着	洋服式	0.5	0.5	7.5	4.2	7.9	3.6	3.3	2.9	4.0	1.7
	和服式	0.3	0.2	0	0.8	1.3	5.5	1.3	4.3	0.9	4.3
ねまき	洋服式(パジャマ)	2.1	3.1	5.8	3.3	3.0	1.2	5.0	2.3	2.5	2.6
	和服式(浴衣)	4.5	6.1	4.2	8.3	1.4	0.4	0.8	0	0.3	0

第21表 部落別被服購入数 (昭和40年8月—昭和41年7月 一戸当り)

調査数 197戸

(単位 枚)

服種別		部落別		A 部落		B 部落		C 部落		平均	
		性別		男	女	男	女	男	女	男	女
		男	女								
和服類	単衣長着	0.20	0.41	0.34	0.68	0.38	1.00	0.29	0.66		
	袷長着	0.03	0.34	0.20	0.39	0.09	0.39	0.09	0.36		
	単衣羽織	0.07	0.12	0.10	0.17	0.06	0.27	0.08	0.19		
	袷羽織	0.05	0.18	0.10	0.27	0.11	0.34	0.09	0.26		
	おしゃれコート	0.01	0.13	0.02	0.24	0.03	0.33	0.03	0.23		
	帯	0.08	0.15	0.17	0.32	0.14	0.52	0.12	0.30		
	その他	0.05	0.12	0.15	0.07	0.03	—	0.08	0.08		
洋服類	ブラウス	0.37	1.86	0.66	2.27	0.98	3.16	0.64	2.37		
	スカート	—	1.43	—	1.88	—	2.69	—	1.94		
	ワンピース	—	0.74	—	0.54	—	0.72	—	0.70		
	スーツ(ツーピース)	—	0.58	—	0.68	—	0.87	—	0.70		
	スラックス(ズボン)	1.00	1.16	1.27	0.76	1.33	1.05	1.16	1.04		
	背広	0.79	—	0.78	—	0.78	—	0.79	—		
	ワイシャツ	1.05	—	1.53	—	1.60	—	1.32	—		
その他	0.20	0.24	0.22	0.20	0.28	0.17	0.23	0.21			
編物類	セーター・チョッキ・カーディガン	1.13	1.13	1.07	0.95	1.19	1.22	1.17	1.12		
外被類	レインコート	0.05	0.07	0.17	0.12	0.44	0.06	0.25	0.10		
	オーバーコート	0.16	0.22	0.05	0.10	0.13	0.19	0.13	0.19		
	和服用コート	0.02	0.04	0.22	0.15	—	0.08	0.06	0.09		
下着類	上(シャツ・スリッパ)	2.82	1.91	2.17	2.17	3.28	3.98	2.83	2.64		
	下(パンツ・ズボン下)	2.73	1.77	2.07	1.90	3.77	3.86	2.93	2.47		
作業着	洋服式	0.63	0.35	0.78	0.22	0.33	0.36	0.56	0.33		
	和服式	0.17	0.43	0.15	0.56	0.08	0.52	0.14	0.49		
ねまき	洋服式(パジャマ・ネグリジェ)	0.62	0.39	0.32	0.46	0.52	0.44	0.53	0.43		
	和服式(浴衣)	0.24	0.33	0.51	0.51	0.48	0.53	0.38	0.43		
合計		26.55		28.56		38.19		31.23			

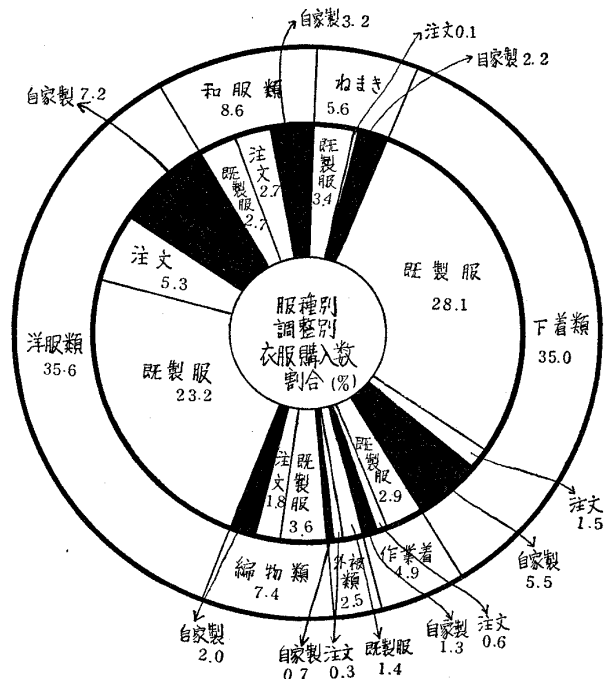
1. 服種別購入数について

第5図に示したように洋服類が全体の35.6%、下着類が35%で約3分の1づつをしめている。これについて和服類8.6%編物類7.4%、ねまき5.6%、作業着4.9%、外被類が2.5%である。このように新しく購入する衣服の大半は洋服類と下着類でしめられている。

各服種の内訳については第18表に示すように、和服類では男女共単衣長着が最も多く、袷長着、帯がこれについている。洋服類では女子の場合ブラウスが最も多く、スカートがこれにつぐ。男子はワイシャツが最も多い。また男女共にズボン、スラックスの購入数が多い。編物類も比較的多い。ズボン、スラックス、編物類は着用して軽く、保温と働きやすいためであるからと考えられる。作業着は

男子は洋服式のものが多く、女子は和服式のものが多い。ねまきは男子は洋服式のものが多い、女子は和洋半々である。これは若い年代の人が洋服式を着用するからである。

第5図 服種別・調整別衣服購入数の割合



2. 調整別被服購入数について

(1) 和服：第19表及び第5図に示すように、調整別すなわち自家製、注文、既製服のしめる割合を調べると、和服類では自家製が多く、特に単衣長着の割合が高い。袷長着は注文、既製服と大差なく、他は既製服が多い傾向にある。単衣長着は簡単に仕立てられるため自家製が多く、他は材料も高価であり、仕立て方も困難であるから注文が多くなっていると考えられる。

和服が他の服種に比べて注文、自家製が多いのは、既製服がまだ一般化していない一面、和服仕立ての技術が家庭にあることも自家製を多くしている一因であろう。

(2) 洋服：洋服類では既製服が全体の3分の2をしめ、次が自家製、注文の順であり、既製服の割合が非常に大きい。これは和服類に比べて洋服類の既製服普及が著しいためである。

(3) 編物類、その他：編物類も約2分の1が既製品であり、外被類、作業着、ねまきも2分の1以上が既製品である。

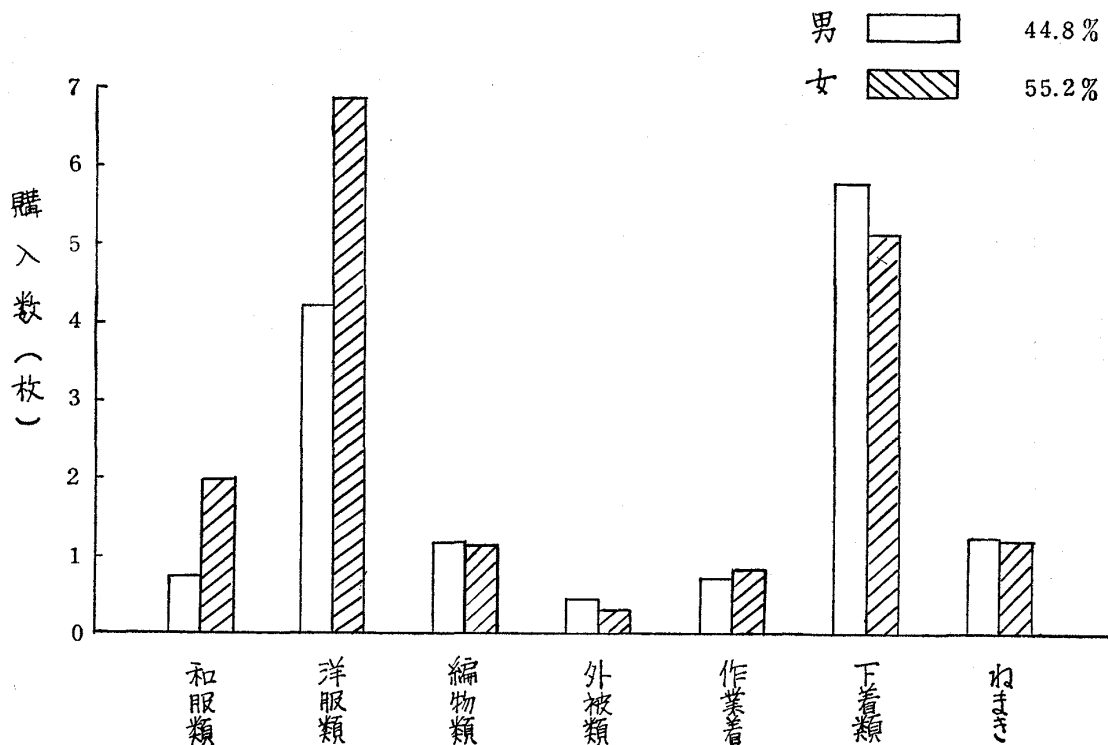
(4) 下着類：下着類は約80%が既製品である。

全体としては既製服が3分の2をしめ、その進出は著しい。これは大量に生産されるために値段も比較的安価で購入しやすいからと考えられる。

3. 性別被服購入数について

第6図に示すように性別による購入数をみると、和洋服においては圧倒的に女子が多く、下着類は男子の方が多い。これは労働の差によるものであろう。他は男女共大体等しい傾向をみせている。

第6図 性別被服購入数 (昭和40年8月～昭和41年7月)
1戸当り 調査数 197戸



全体としては男子44.8%、女子55.2%となる。女子の和洋服購入の多いのは実用的目的のみではなく、女性独特の装身的目的を加味する点が、この結果をもたらしていると考えられる。

4. 年齢別被服購入数について

第19表及び第7図に年齢別被服購入数について示した。年齢区分を18才以下、19～23才、24～35才、36～50才、51才以上とし、ライフサイクルの考え方にもとづいた。

この年齢別購入数は1戸当りの戸数で出すことができないので、調査戸数197戸のうち基礎調査の対象となった93戸により、この年齢区分の人員数を調べた結果、男女の数は各年齢区分とも約1：1で、人員数の割合は18才以下10.0、19～23才1.0、24～35才4.4、36～50才6.2、51才以上6.1の割合である。調査対象の全体がこの割合とほぼ同じになると類推し、年齢別に出た数をこれで割り、年齢別被服購入数の割合とした。

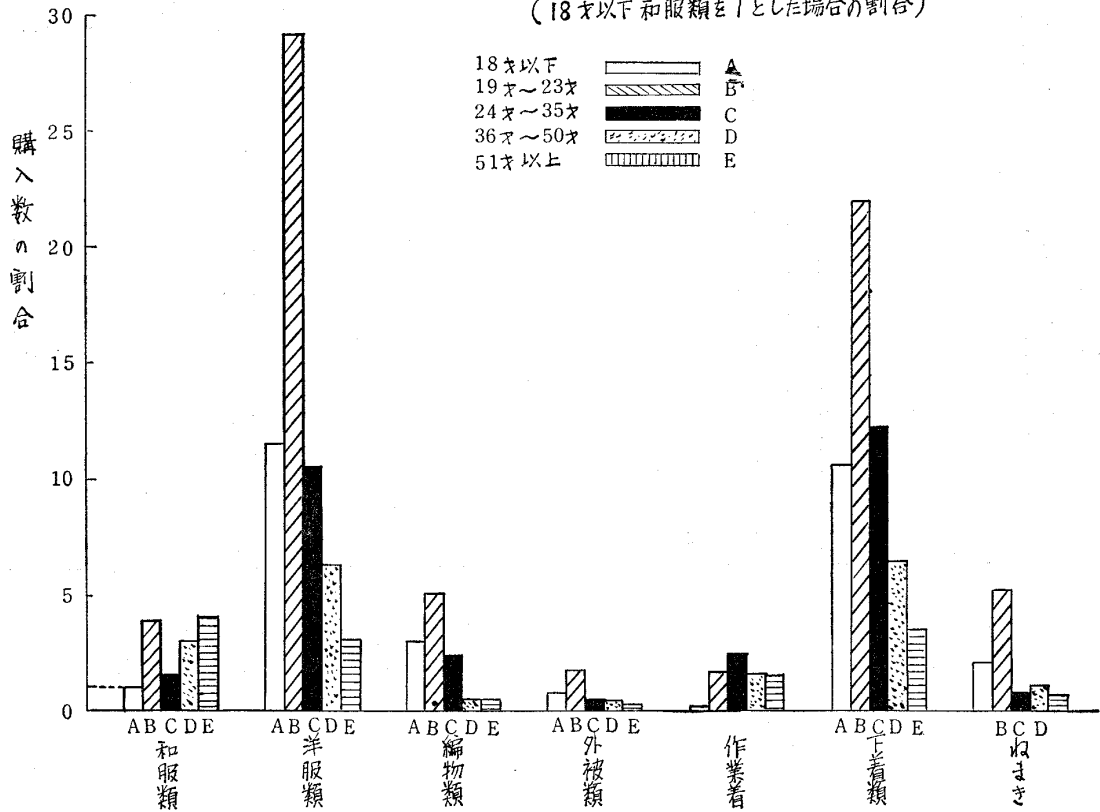
(1) 和服：第7図から和服類は51才以上の購入数が最も多く、19～23才がこれにつき、36～50才、24～35才の順になっている。19～23才になって急に増えているのは、いわゆる結婚適令期という世間一般の慣習と一致していると考えられる。51才以上に多いのは高齢者の購入が多いことと、老人の和服着用の多いことを示している。

(2) 洋服：洋服類は19～23才が最も多く、他をひきはなしている。また年をとるにしたがって減っていくのは和服類と対症的であり、年をとるほど洋服から和服に移っていく傾向が現われたものであると考えられる。編物類、外被類、下着類も洋服類と同様の傾向を示している。

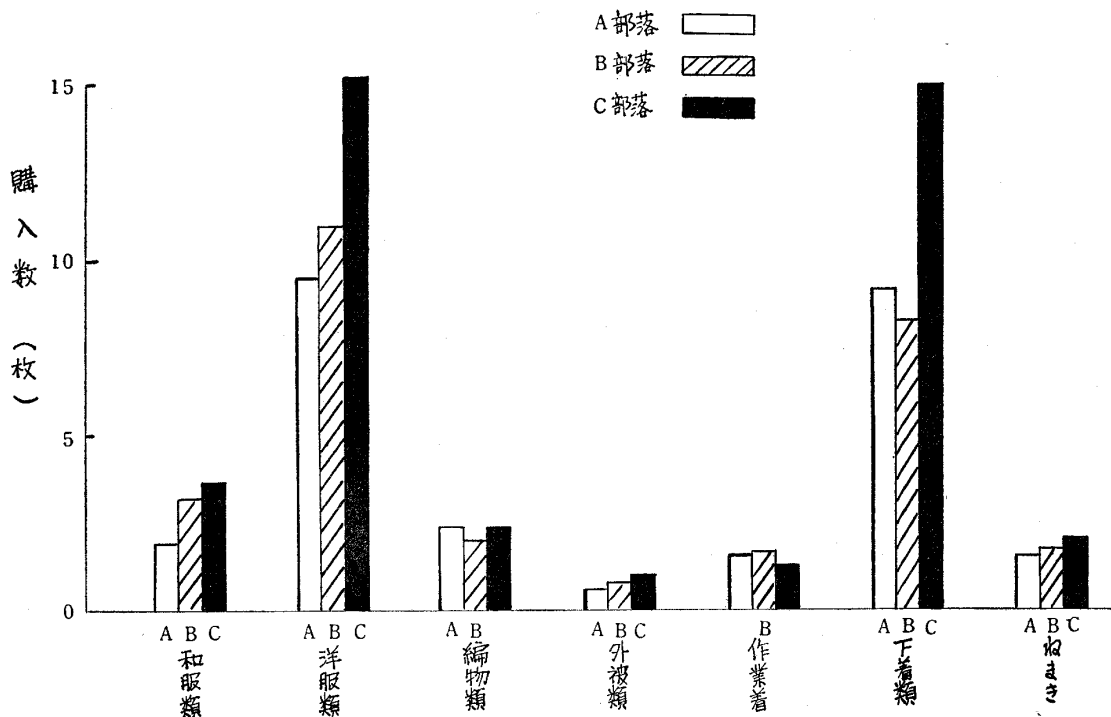
(3) ねまき：ねまきは19～23才が最も多く18才以下がそれにつづいている。

(4) 作業着：作業着は24～35才が最も多く、この年代が家の労働の中心をなしていると考えられる。

第7図 年齢別被服購入数の割合 (昭和40年8月～昭和41年7月)
(1戸当り 調査数 197戸)
(18才以下和服類を1とした場合の割合)



第8図 部落別被服購入数 (昭和40年8月～昭和41年7月)
(1戸当り 調査数 197戸)



全体としては作業着をのぞき19～23才が最も多く、それ以後になると目立って減少しているのは、世間一般で考えられている結婚のための被服購入がいかに多いかを示している。

5. 部落別被服購入数について

部落別被服購入数を第20表及び第8図に示した。作業着をのぞいて他の服種はC部落が最も多い。これはC部落が基礎調査（第6表参照）からも分るようにサラリーマンが多く、現金収入の入りやすい状態にあるからと思われる。

総 括

I 基礎調査

1. 美杉村には山林を多く所有している富裕農家もあるが、全体としては山村特有の農地が少く、兼業農家が多く割合をしめ、恒常勤務とか出稼が多い。
2. 農業、林業及び家内職のすべてに主婦の従事者が多く、農村の労働は主婦にまつところが大きい。

II 主要耐久消費財

1. 我国の経済水準の向上発展に伴って、非農家を第1位として、兼業農家、専業農家の順に文化的都市化された生活が進展しているが、これは収入の多少に直結したものではなく、むしろ生活態度の差からくるものであると考えられる。
2. ミシン、洗濯機、電気釜等電気製品の普及率は高く、住宅内部の生活は機械化され、家事の自動化の領域が広がり、家事労働は縮小されている。
3. 薪・炭の特産物が身近にあるのに、ガスコンロ、石油ストーブ、電気こたつ等の購入の多いのは、熱源に対して使用しやすく、労働力の節約にもなる便利さからであろう。
4. 経済の向上が衣生活における衣服から更に寝具類の充実及び、農家においても従来のふとんに加えて、マットレス、ソフトラバーの新しい製品が多く使用されている。

III 主婦の被服所持数

1. 経済水準の向上にともなう所得の増加によって生活水準が高まり、被服においては特に20～30才の主婦の所持数が多く、洋服は他の年代の2倍近く所持している。

しかし高齢者になるほど和服形式のものが多くなるのは、従来からの衣生活に対する依存度が高いことと、脱ぎ着に便利なのが影響していると考えられる。更に和服に対する愛着もあるからであろう。

2. 主婦の被服所持数の中で外出用の和服のしめる割合は大きい。これは個人の生活よりも社会生活に重きをおき、普段着は間にあわせですませ、外出着に重点をおいているからであると考えられる。
3. ねまき、作業着を他の服種に比較して割合に多く所持しているのは、現在農村特有の一

日中働き続けて就寝に入る姿の端的なあらわれで、主婦の生活のあり方については問題がある。

IV 一年間の家庭における被服購入状況

1. 既製服の購入が多く、特に下着類はほとんどで、上着類もかなりの数になっている。これは合理的ではあるが、一面生活に余裕がないことと、計画性に欠けている点が考えられ、高率に所有のミシンは実際にどの程度活用されているのであろうか。
2. 男子と女子を比べると全体として女子の方が購入数が多い。女子の場合特に装身的目的を持つ被服が多いためと考えられる。
3. 年齢別にみると結婚前19～23才の被服購入数が目立って多い。

最後に、本調査に対しご便宜とご協力をいただいた美杉村村長、同教育長、各部落公民館長、美杉村婦人会長及び会員各位、ならびに下の川、太郎生、伊勢地の各中学校長及び職員の皆様に厚く感謝の意を表す。

なお本調査にあたりご指導いただいた本学戸野村教授及び田中徹教授、ご示唆を頂いた本学池田教授、またご助言頂いた東海農政局の下村、久木山農林技官、本学長谷川知一教授、精園英一、村尾両講師に深謝するとともに、調査に協力を得た本学家政科学生に感謝する。

参 考 文 献

- 1) 東海学園学術調査団
東海学園女子短期大学紀要第2号(1966)
- 2) 農林省農政局
生活改善総合対策樹立のための調査研究総括報告書(1964)
- 3) 日本女子大学農家生活研究所
農家生活の地帯的特質に関する研究(1962)
- 4) 戸野村操・北川洋子
日本女子大学紀要(農家衣生活の地域表1966)
- 5) 経済企画庁
国民生活白書(1966)
- 6) 美杉村役場
美杉村要覧(1965)
- 7) 建設省
建設白書(1966)
- 8) 和田和子
消費科学 Vol. 7 No. 4 July. 1966(寒冷地住民の衣生活の研究)